

事務事業名		英語教育推進事業			会計	一般会計					
課等名		学校教育課			事業種別	政策		開始	1	終了	
基本計画上の位置づけ		政策	2	地育力によるこころ豊かな人づくり							
		施策	22	義務教育の充実							
目的	対象(誰・何を)	市内小中学校児童生徒			対象指標	指標名及び単位			24年度数値		
	意図(どういう状態にするか)	中学生には英語による外国人とのコミュニケーション能力の向上、小学生には、国際感覚と、外国語の必要性を認識する動機づくり				中学校生徒数(5/1現在)			3152		
	向上させたい上位施策の成果指標	基礎学力の水準(中学校)				小学校児童数(5/1現在)			6014		
目標	種別	指標名及び単位			24年度計画	24年度実績	25年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)		
	成果指標	英語指導助手の中学校英語授業時数の割合			20	20	20	20			
	成果指標	英語指導助手の小学校外国語活動(5・6年)の1クラス当りの年間参加時数			25	25	25	25			
	定性目標										
事業概要	小中学校に外国籍の英語指導助手を配置し、小学校では外国語活動を、中学校では英語教育を推進する。 1 児童生徒に生きた英語を学ばせることで英語でのコミュニケーション能力を身につける。 2 外国人との交流機会による国際感覚を育成する。										
	事業内容					名称			活動指標		
24年度事業内容	1 小中学校に外国籍の英語指導助手を配置し、外国語活動時間に1学級(教科)の指導を担当教諭と英語指導助手が担当し、複数の目できめ細かく指導するチームティーチングを実施。児童生徒に生きた英語を学ばせることで、英語でのコミュニケーション能力を身につけるとともに、外国人との交流による国際感覚を育成する。 (1) 小学校での外国語(英語)活動 音声を中心に、歌やゲーム、動きを伴った活動や児童の興味を引く活動を通して、英語を使ってコミュニケーションする経験をさせ、英語に慣れ親しむ。 (2) 中学校での英語学習 学習指導要領の学習内容に沿ったコミュニケーション活動を行う。					英語指導助手配置数			8人		
	事業コスト		23年度決算額	24年度予算額	24年度決算額	25年度予算額	特定財源内訳、補足				
事業費計(千円)①		32,498	32,814	32,098	32,782						
国庫支出金											
県支出金											
起債											
その他											
一般財源		32,498	32,814	32,098	32,782						
人件費計(千円)②		429		429							
正規職員所要時間		120		120							
臨時職員所要時間		0		0							
総事業費①+②		32,927	32,814	32,527	32,782						
事業内容・目標達成状況の振り返り	ELTを派遣することで、日本人教員では行うことができない国際理解の促進や、自らコミュニケーションをとりとうとする姿勢を育むことができた。										
改革改善の考え方	①問題点	指導力のあるELTの採用方法に課題があるため、ELTの急な退職時の人材確保に困難をきたす。									
	②改革提案	採用が必要な場合はAPU、国内のELT経験者などに対する広報活動を実施する。									